

大海を航る、 ハンマー 大槌を持とう！



OTSUCHI
HIGH SCHOOL

岩手県立大槌高等学校 学校案内 2023

年間行事

- | | |
|------------------|--------------|
| 4月 入学式・対面式 | 10月 大高祭 |
| 5月 高総体 | 11月 後期中間考査 |
| 6月 前期中間考査・クラスマッチ | 12月 修学旅行 |
| 7月 インターンシップ | 1月 大学入学共通テスト |
| 8月 夏季課外 | 2月 学年末考査 |
| 9月 前期末考査・就職試験 | 3月 卒業式 |



部活動

運動部

- ・バスケットボール (男女)
- ・バドミントン (男女)
- ・ソフトテニス (女)
- ・バレーボール (女)
- ・硬式野球 (男)
- ・サッカー (男)
- ・弓道 (男女)

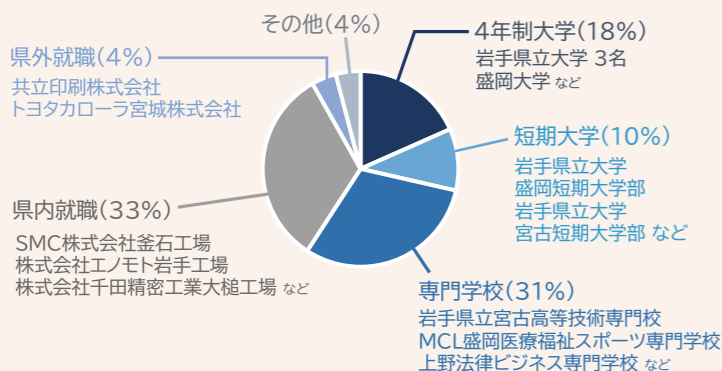


文化部

- ・吹奏楽部
 - ・総合文化部 (OA・美術・書道・インターアクト)
- ※自分の所属を決めて活動

キャリア教育・卒業後の進路

令和4年度 卒業生の進学・就職先



2年生では、大槌町や釜石市にある企業・事業所に出向いてインターンシップを行います。また、資格の取得や公務員試験に向けた対策を行っています。大学進学希望者は、探究活動に積極的に取り組み、多くの生徒が推薦入試(総合型・学校推薦型選抜)を活用しているのが特徴です。希望の進路を実現できるよう、課外授業や個別指導も行っています。

大槌高校ならではの特徴的な活動

地域みらい学



学校設定教科「地域みらい学」では、国語・数学・英語・理科・地歴公民の5科目を大槌町を題材に学びます。また、総合的な探究の時間では、社会人との対話やフィールドワークを通して、自分自身や地域について深く考えます。ディスカッションやプレゼンテーションの機会が多くあり、自分なりの意見を相手に伝える力が身に付きます。

復興研究会



東日本大震災時に避難所となった大槌高校では「復興研究会」を立ち上げ、定点観測・防災班、キッズステーション班、他校交流班、広報班の4グループで、町内の復興やまちづくりに関する活動を行っています。これまでの様々な活動が評価され、令和4年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。

校則検討委員会



生徒の有志が「校則検討委員会」を立ち上げ、議論を行っています。これまでに、頭髪の基準や制服の着こなし、応援歌練習のあり方などを見直し、時代に合った校則へと改定していきました。様々な立場の人の意見を聞きながら適切なルールへと変えていく過程を通して、生徒自らがより良い学校づくりに参画しています。

マイプロジェクト



2年生では、自分の関心がある探究テーマでプロジェクトを企画し、実行する「マイプロジェクト」に挑戦します。自ら立てた企画を仲間や地域を巻き込みながら実行することで、主体的に学び、行動する力が身につきます。マイプロジェクト活動で学んだことを活かし、校外での発表にもチャレンジする生徒が多くいます。

はま研究会



東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センターの協力のもと、大槌湾に生息する生き物や海洋環境の調査活動を行っています。釣り活動や生き物の飼育といった身近な活動から、海の水質や漂着物の調査など本格的な海洋研究まで、様々な活動が開かれています。多くの生徒が部活動と両立しながら、それぞれのペースで活動しています。

コラボ・スクール大槌臨学舎



認定NPO法人カタリバが運営する中学生・高校生向けの放課後塾「コラボ・スクール大槌臨学舎」が、高校内に併設されています。平日は20時まで開校しており、自習や探究活動に取り組める場所を提供しています。町内外出身の多様な経験を持った若手スタッフが常駐しており、勉強や探究活動に関する相談やサポートも行います。

私たちはこんな“大槌(ハンマー)”を身につけました!

(令和4年度卒業生)



先輩たちが「大槌高校を選んだ理由」はこちらの動画から!



面白い名前の授業で
楽しく学べる！

2年生になってから「ひょっこり表現島(国語)」や「くらしmath(数学)」といった面白い名前の授業が始まりました。「ひょっこり表現島」では、「原稿を見ずに5分間で本を紹介する」ということにチャレンジ！こういった時のプレゼン力など、社会に出てからきつと役立つ力が身についていると感じます。

クラスメートにもぎやかでみんなで楽しく学べるのが魅力です。



地域の課題に向き合うのは
難しいけれど、楽しい！

総合的な探究の時間では授業を通じてたくさんの地域の方と関わることができます。「大槌発未来塾」というプログラムで色々な大人の生き方に触れたり、「SIMおおつち」というプログラムでは大槌町の地域課題に向き合ったりします。答えのない課題に向き合うのは難しいけれど、クラスメートと協力しながら進めていくのが楽しいです！

放課後も自分次第で
選択肢がたくさん！

1日6時間授業なので、放課後に部活動や生徒会、マイプロなど、自分次第で成長する機会がたくさんあります。放課後に生徒が集まる「コラボ・スクール」には、年齢も近くて接しやすいスタッフの方がいるので、学校生活の悩みを聞いてもらうことや進路の相談をすることもあります。マイプロの際にはコラボのスタッフをお願いして、興味のある分野の専門家にもつないでもらいました！

人数が少ないからこそ
一人ひとりに
向き合ってもらえる

生徒の人数が少ない分、生徒のちょっとした変化にも先生方が気づいてくれます。頼りがいのある先生たちばかりで授業以外でも色々な話を聴けるのがおもしろい！先生も先輩も優しい人が多いのが嬉しいです。



現役大高生に聞く！
大槌高校のリアル

あたたかい地域で
マイプロに挑戦！

「はま留学」の制度を使って県外から入学したのですが、大槌のまちの人のあたたかさにびっくり！大槌の郷土料理に関するマイプロジェクトに挑戦した時にも地域の方にたくさんお話を聞かせてもらいながら進められました！



自分の意見で
学校を変えられる！？

自分たちにとってより過ごしやすい学校生活にするために、「校則検討委員会」で話し合いを行っています！最近では、LGBTQの観点から、制服を変えられるか？ということを検討しています。すぐに変えられないことも多いですが、自分の意見で学校を少しでもよくできる実感を持てるのが良いところ！

学校生活の様子は
大槌高校のnoteからも
ご覧ください！



新しい大槌町の魅力を発見！

活動紹介を聞いて興味を持ち、「復興研究会」に入りました。大槌生まれ、大槌育ちでも、知らない景色がたくさんあって、定点観測の活動を通して、大槌町の魅力を再発見しました！復興研究会に限らず、自分のやりたいことにチャレンジできるのが大槌高校の魅力です。

「東大」の先生が面白い！

友達に誘われて、「はま研究会」に入りました。放課後や週末は顧問の先生や東京大学の先生と一緒に干潟に行き川の調査をしたり、普段使うことがない器械を使って鮭のDNAを研究したりしています。「東大」って言われると頭が良くて話が難しそうなおイメージがありましたが、実際の先生方はいつもわかりやすく面白い話をしてくれます！普段なかなか関われない人と関われるのが魅力です！



文部科学省 「新時代に対応した高等学校改革推進事業」 (普通科改革支援事業)の指定2年目になりました

文部科学省「新時代に対応した高等学校改革推進事業(普通科改革支援事業)」に指定され、令和4年度より、新学科設置等の新たな取り組みに向けた準備を進めています。今後も、地域の皆さんと共に魅力ある学校づくりに取り組んでいきます！



「はま留学」第4期生を募集しています！

大槌高校では、全国から入学者を募集する「はま留学」を実施しています。下宿生活を通して、地域と関わり合いながら自立した生活を送ることができます。オンライン説明会やオープンスクールも予定しています。詳しくは、ホームページをご確認ください！



大槌暮らし体験オープンスクール2023(※はま留学希望者対象)

第1回：8月19日(土)～20日(日)

第2回：9月30日(土)～10月1日(日)

※はま留学に関するご質問・ご相談は、下記メールアドレスまでご連絡ください。
hamaryugaku@otsuchi.ed.jp(担当:星野)

はま留学の
LINE@から
申し込みが
できます！



岩手県立大槌高等学校

〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌第15地割71番地1
TEL:0193-42-3025 FAX:0193-42-4966

🔍 大槌高校 <http://www2.iwate-ed.jp/oht-h>

🔍 大槌高校note <https://oht-hs.note.jp>



ホームページ



note

大槌高校までのアクセス

- ・三陸鉄道リアス線「大槌駅」から徒歩20分
- ・岩手県交通「大槌橋」から徒歩15分

大槌町までのアクセス

